



(Drug Information News)
NO. 238
2004年10月
徳山医師会病院 薬局
TEL:0834-31-7716
FAX:0834-32-5349
e-mail:yaku@tokuyamaishikai.com

薬局ホームページアドレス <http://www.tokuyamaishikai.com/yaku/index.htm>

1. お知らせ

セレネース錠1.5mg(大日本)の【効能・効果】における病名変更について (下線部変更箇所)
【効能・効果】精神分裂病, 躁病 統合失調症, 躁病

点滴用キシロカイン10%(アストラゼネカ)販売中止について
本製品に関する全ての医療事故を完全に無くすことを目的に、2005年3月末で販売中止となります。

2. 医薬品・医療用具等安全性情報

(No.204)2004年8月 厚生労働省医薬食品局 【概要】

1. 重要な副作用等に関する情報

【1】アルガトロバン

当院採用品:ノバスタン注

《使用上の注意(下線部追加改訂部分)》

[副作用(重大な副作用)]

劇症肝炎, 肝機能障害, 黄疸: 劇症肝炎等の重篤な肝機能障害, 黄疸があらわれることがあるので, 観察を十分に行い, 異常が認められた場合には, 直ちに投与を中止し, 適切な処置を行うこと。

【2】クエン酸モサプリド

当院採用品:ガスモチン錠5mg

《使用上の注意(下線部追加改訂部分)》

[副作用(重大な副作用)]

劇症肝炎, 肝機能障害, 黄疸: 劇症肝炎, 著しいAST(GOT), ALT(GPT), -GTPの上昇等を伴う重篤な肝機能障害, 黄疸があらわれることがあり, 死亡に至った例もあるので, 観察を十分に行い, 異常が認められた場合には, 直ちに投与を中止し, 適切な処置を行うこと。

【3】サリチルアミド・アセトアミノフェン・無水カフェイン・メチレンジサリチル酸プロメタジン

当院採用品:PL顆粒

《使用上の注意(下線部追加改訂部分)》

[副作用(重大な副作用)]

緑内障: 緑内障発作があらわれることがあるので, 視力低下, 眼痛等があらわれた場合には投与を中止し, 適切な処置を行うこと。

【4】濃グリセリン・果糖
当院採用品：グリセオール注200ml,500ml

《使用上の注意（下線部追加改訂部分）》

〔禁忌〕

成人発症II型シトルリン血症の患者

〔重要な基本的注意〕

成人発症II型シトルリン血症の患者に対して、脳浮腫治療のために本剤を投与して病態が悪化し、死亡したとの報告がある。成人発症II型シトルリン血症（血中シトルリンが増加する疾病で、繰り返す高アンモニア血症による異常行動、意識障害等の特徴とする）が疑われた場合には、本剤を投与しないこと。

3. 漢方薬

漢方では、患者さんひとりひとりの体質や体格、病態などによって、「陰陽」「虚実」などの「証」を見極め、治療方針を立てます。同じ病名・症状でも、証が異なれば、処方する漢方薬も異なります。「証」には、次のようなものがあります。

陰・・・冷えると症状が悪化する、寒さに支配された状態。冷え性、顔色が悪いなどの特徴が見られる人。

陽・・・熱に支配された、のぼせの状態。暑がり、赤ら顔、冷水を好むなどの特徴がある人。「虚実」は、体力の強弱を表します。

虚・・・体力・気力がなく、抵抗力の弱い状態。胃腸が弱い、声がか細い、細身などの特徴がある人。

実・・・体力・気力が充実し、抵抗力がある状態。胃腸が丈夫、声が力強い、固太りなどの特徴がある人。

尚、「虚」「実」のどちらにも当てはまらない場合は、「中間証」とみなします。

服用期間について

服用期間は飲み始めて2週間が目安になります。変化がない場合でも、数ヶ月後に改善する例もあるので、一般に、悪化が見られないかぎり継続します。体質改善には、長時間の服用が必要になります。

2種類の薬を服用するとき

2種類の漢方薬を一緒に服用すると、互いに影響しあって、本来の効果が発揮されにくくなることもあります。それぞれの薬の効果を十分得るため、1種類は食前に、もう1種類は食間に飲むなど、時間をずらして服用することもあります。

副作用について

漢方では症に合わせて薬を用いるので、副作用は少ないと言えますが、生薬の中でも、「麻黄」や「附子」など作用が強いものは、食欲不振、のぼせなどを引き起こすことがあります。注意したい生薬を表に表します。

生薬	副作用
甘草	むくみ、血圧上昇
桂皮	発疹、発赤、かゆみ
当归	食欲不振、胃部不快感、悪心
人参	のぼせ、じんましん
附子	のぼせ、舌のしびれ、悪心
麻黄	不眠、発汗過多、食欲不振、排尿障害

今回は、特に女性に多いとされる「肩こり・頭痛」「便秘・肌荒れ」等に関係してくる漢方薬に絞って以下に簡単にまとめてみたいと思います。

～肩こり・頭痛～

西洋薬での対応

肩こり・頭痛に対する西洋薬は数多くあり、なかでも、血液の循環を良くする薬が多用されています。肩こりでも、五十肩による場合には炎症を伴うことが多いので、消炎薬で炎症を抑えて痛みを取り去ります。

頭痛の対症療法として処方される鎮痛薬は、痛みを取る作用はありますが、根本的に治療するのではなく、同じ症状が繰り返し起こります。

漢方薬での対応

漢方では、全身の歪みを調整することが、肩こり・頭痛の解消につながると考え、まず全身状態を改善する薬を処方します。また、胃腸に障害があると、体内に水がたまりやすく、血液の流れも悪くなると考え、消化・吸収機能を高めることによって、肩こり・頭痛の改善を図ります。

・肩こりに対する処方例・

証	処方名	その他の症状
実証	葛根湯	無汗、かぜ、じんましん、乳腺炎
	桃核承気湯	動悸、便秘、うつ、冷えのぼせ
中間証	桂枝茯苓丸	冷えのぼせ、下痢痛
	加味逍遙散	多彩な精神症状、月経異常、冷えのぼせ
	二朮湯	五十肩、胸の痛み、しびれ
虚証	桂枝加朮附湯	上半身の冷え、痛み、しびれ

・頭痛に対する処方例・

証	処方名	その他の症状
実証	葛根湯	無汗、かぜ、じんましん、乳腺炎
	釣藤散	朝方の頭痛、のぼせ、高血圧、不眠
中間証	呉茱萸湯	夕方の頭痛、胃腸症状、冷え性、頭重
	防己黄耆湯	水太り、浮腫、関節痛、倦怠
	当归芍薬散四逆加呉茱萸生姜湯	手足の冷え、しもやけ
虚証	五苓散	むくみ、下痢、嘔吐
	半夏白朮天麻湯	胃腸症状、冷え、めまい

～便秘・肌荒れ～

・便秘

西洋薬での対応

便秘に対する西洋薬は、便に水分を含ませて柔らかくしたり、腸管を刺激して動きを活発にさせて、排便を起こさせます。西洋薬は、効果が高いのですが、長期間連用すると効果が低下して、服用量が増えることがあります。また、排便は起こっても、同時に腹痛や下痢が起こることもあります。

漢方薬での対応

漢方では、便秘は、「気血水」のバランスが乱れ、「お血、血虚、気逆、気うつ、水毒」などのいずれかの異常から起こるととらえます。そこで、漢方治療では、「体内の水分を調整する、血行を改善する、精神を安定させる」などの作用を持つ漢方薬を、ひとりひとりの状態に合わせて用い、「気血水」のバランスを整えます。その結果、胃腸の働きがよくなったり、自律神経の働きが安定したり、冷えが改善されて、次第に便秘を起こしにくい体質に変わっていきます。

証による便秘の特徴

- ・実証 … 1日でも便が出ないと不快。
西洋薬の下剤を使っても、腹痛や下痢は起こりにくい。
- ・虚証 … コロコロとした「兔糞状」の便。
便の出始めは硬く、最後のほうになると、軟便や下痢便になる。
数日から1週間ほど便が出なくても平気。
西洋薬の下剤を使うと、腹痛や下痢が起こることがある。

「大黄」の作用と効果

便秘に対しては、「大黄」という生薬を含む漢方薬がよく使われます。「大黄」には、下剤としての作用の他、炎症を抑えたり、腸管を温めたり潤したりする作用があります。さらに、抗菌作用や精神を安定させる作用もあります。「大黄」による下剤の効果は、服用後8～10時間で現れ、排便が起こります。

・便秘の処方例・

便秘以外の症状が特にならない場合

実証～中間証	大黄甘草湯	大黄を含む
--------	-------	-------

便秘以外の症状がある場合

証	処方名	その他の症状	大黃
実証	桃核承気湯	左下腹部に圧痛、頭痛、めまい、うつ、冷えのぼせ、月経異常	含
中間証	防風通聖散	肥満、むくみ、のぼせ、湿疹	含
	桂枝茯苓丸	月経異常、冷え、のぼせ、頭痛	無
	乙字湯	便秘による痔、痔出血、脱肛	含
	当归芍薬散	冷え、貧血、めまい、むくみ、月経異常、疲れやすい	無
	桂枝加芍薬湯	腹部膨満、腹痛、下痢	無
	小建中湯	腹痛、下痢、疲れやすい、冷え	無
	補中益気湯	倦怠感、胃腸虚弱、食欲不振、痔、脱肛	無
虚証	麻子仁丸	体力低下、虚弱体質、兔糞状の便、頻尿	含
	桂枝加芍薬大黃湯	腹部膨満、腹痛	含

・肌荒れ

西洋薬での対応

西洋薬による肌荒れやにきびの治療は、外用薬が中心で、炎症や化膿を抑えたり、皮脂の分泌を抑えるなど、局所の治療となります。

漢方薬での対応

漢方では、肌荒れは、「気血水」のバランスが乱れ、主に「お血、気逆、気うつ」が起きている状態ととらえます。そして、便秘と同じように、「気血水」のバランスをよくして、体調を整えたり、体質を改善するなど、体の内側から肌荒れを改善していきます。

・肌荒れの処方例・

証	処方名	その他の症状
実証	清上防風湯	赤みが強いにきび、のぼせ、かゆみ
中間証	桂枝茯苓丸加よく苡仁	にきび、しみ、赤ら顔、月経異常、のぼせ
	十味敗毒湯	にきび、急性湿疹、じんましん、かゆみ
	荊芥連翹湯	にきび、皮膚が浅黒い、鼻や扁桃の炎症、かゆみ
虚証	当归芍薬散	冷え、貧血、倦怠感、にきび、しみ、月経異常
実～虚	よく苡仁湯	にきび、しみ、いぼ

参照：きょうの健康2003.9 2004.1